

アスパラガス根株のサツマイモネコブセンチュウに対する殺線虫効果

[要約]

アスパラガス根株をピーマンの主要土壌病害虫であるサツマイモネコブセンチュウの汚染土壌に加えると、混入率1%で殺線虫効果が認められる。また、卵及び2期幼虫ともに根株抽出液に殺卵・殺線虫効果が認められ、その半数致死濃度は0.2%である。

茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所

令和7年度

成果
区分

研究